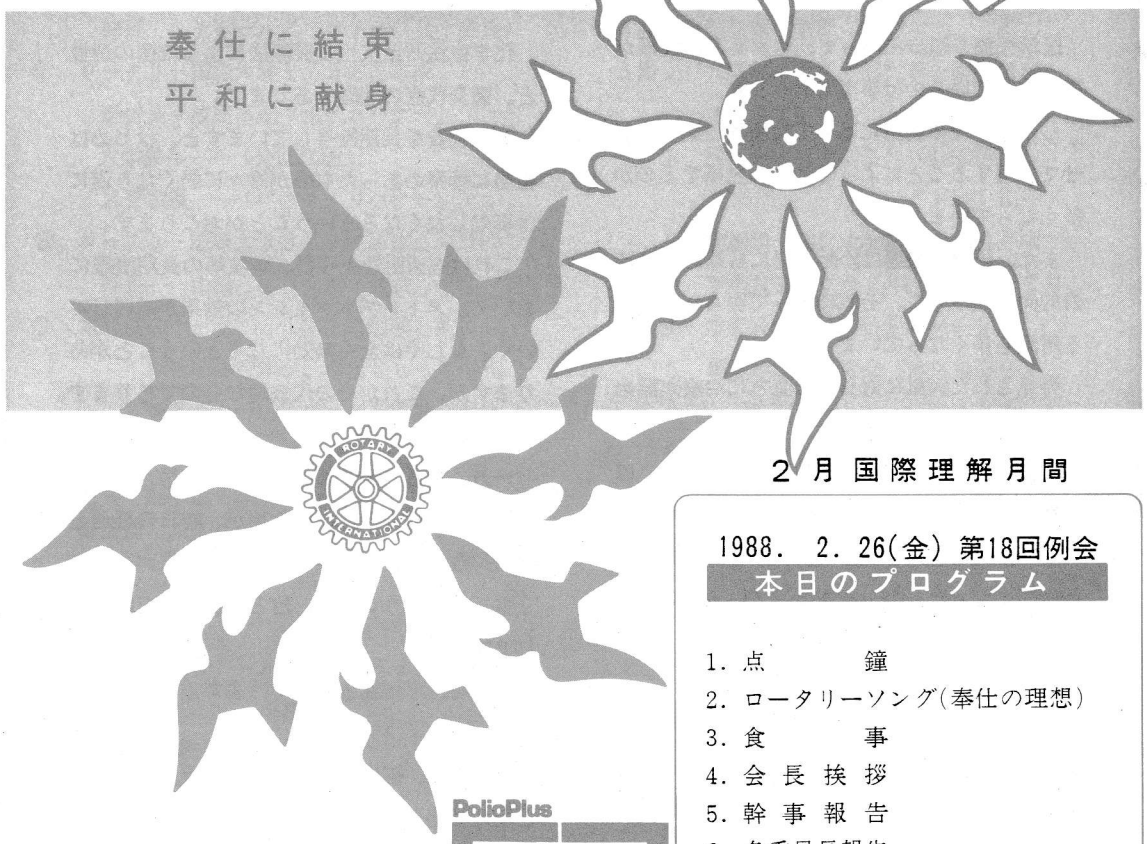
THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

佐土原ロータリークラブ週報

ROTARIANS
UNITED IN SERVICE—DEDICATED TO PEACE
CHARLES C.KELLER

ロータリアン——

奉仕に結束
平和に献身



2月 国際理解月間

1988. 2. 26(金) 第18回例会

本日のプログラム

1. 点　　鐘
2. ロータリーソング(奉仕の理想)
3. 食　　事
4. 会長挨拶
5. 幹事報告
6. 各委員長報告
7. 会員スピーチ(鈴木正敏)
8. 点　　鐘

● 次回卓語予定者

PolioPlus

佐土原ロータリークラブ
例会日　毎週金曜日(12:30～13:30)
例会場　ホテル神宮寺　TEL 0985－73－0015
事務所　〒880－03　佐土原町大字下田島9883番地1

会　長　山脇　忍
副会長　江藤康雄
幹　事　岩切正司
会　計　佐野　保
会報委員長　垂水敏雄

第１７回例会記録（昭63・2・19）

会長挨拶　　山脇　忍

皆さん　こんにちは、本日は第１７回例会でございます。

近年医療を批判して、薬づけ、検査づけという言葉が、マスコミを通じてよく聞かれることと思います。

そこで、この薬づけということについて少々ふれてみたいと思います。

医学医療の進歩に伴って、治療薬剤の種類が多くなっているのは事実であります。

しかも、その使用に当って数種類の薬を合わせて服用することによって効果を発揮するのが多くなっています。

また、医学の発達は診断過程にも革命的な技術的向上がみられ、それに伴って明らかにされる病気も多くなっています。

発見された病気に対しては直ちに治療が開始されます。

斯様な次第で薬物療法が多くなってくるのは当然のことであり、それによって病気は治癒し、あるいは延命効果を発揮し、わが国が世界一の長寿国になったその一端を担っていると考えられます。

また、薬店で使用する薬と、医師の使用するそれとでは、かなり異っており、一般大衆薬は、“かぜ”薬を例にとってみても、一錠の中に、解熱剤・咳止め・鼻水止め等数種類のものが含まれてかぜ薬として販売されていますが、医師の使用する薬剤は、解熱剤・咳止め・鼻水止め・去痰剤等が別々に錠剤となっていますので、“かぜ”で症状が多岐に亘ると６～７種類の薬を使用することになります。

これを薬づけと呼ぶならば、その内容を知らないための誤解から生まれた言葉と考えられます。

昨今最も危惧しているのは、医師の処方した薬が正しく服用されているかどうかということであります。

そうでなければ正しい医療は困難となってくるからです。

しかし、今日この薬の問題を取り上げた本旨は別にあり、それを今から申し上げます。

化学療法乃至抗生物質療法による細菌の耐性と、菌交代症の問題であります。

抗生物質を長期投与していますと、はじめは相当に効果のあったものが徐々に弱くなり遂には奏効しなくなるということがおこります。

これは臨床耐性と呼び、結核等の長期治療において、ストレプトマイシンの効果が減弱していく、もしくは全く無効になるということがありますが、これがその代表的なものであります。

一方、ある地域で、ある時代に使用されていた極めて殺菌力の強い抗生剤が、時日の経過と共に、数年及至数十年の間に殺菌効果が殆ど無くなってしまうことが、殆どの抗生剤で認められます。

これを疫学耐性と呼んでいます。

そのため、抗生剤の開発はより新しいものへと絶えず開発が続けられており、とどまるところを知らない状態にあります。

どうしてこのような耐性菌が出現するかと申しますと、現在二つの機序が明らかにされています。

一つは、細菌は突然変異によって、10^{-5}～10^{-9}の頻度で耐性菌が存在し、抗生剤を使用することにより、この耐性菌だけが選択されて増殖します。（突然変異と選択説）

もう一つは、細菌の細胞質内に耐性遺伝子群というものがあって、これが色々な方法（接合、導入）で感受性菌に伝播することが証明されています。

この内、大腸菌等が持っているものをR因子と呼んでいますが、これが他の細菌に伝播して行くために耐性菌が増加して抗生剤の効果が無くなるのだと理解されています。

これを阻止するにはどうすればいいか、そのことが問題でありますが、ある面では、抗生剤を使用する以上殆ど防ぎ得ない必発の現象で、悲観的なものでありますけれども、その使用法によってはある程度進行を緩めることはできます。

そのためには、医師の処方の通り正しく服用すること、みだりに抗生剤を使用しないことであります。

次に、菌交代症の問題でありますが、ヒトは胎児の間は無菌でありますが、生まれると有菌の世界で一生を過ごすことになります。

皮膚や粘膜、消化管等色々な部位に一定の細菌群が定着し生存することになります。

これを正常細菌叢と呼んでいます。

これらの細菌群は宿主と共生し、均衡を保っているのですが、抗生剤の大量投与や、宿主の生理的条件の変化によりこの均衡が破れると、従来それほど毒力の強くない微生物が、急激に増殖して感染をおこすことがあります。

これを菌交代症と言っています。

抗生剤の大量の使用によって、ぶどう球菌による腸炎やカンジタ症を続発する場合などがこれに相当します。

以上のことは、薬剤の使用により避けることが困難な現象ではありますが、医師並びに患者の協力により、少しでもその発生を抑制することは可能であると考えます。

幹事報告　　岩切正司

1. 米山記念奨学金の案内が来ています。
2. ガバナー月信第８号をお配りしました。
3. ロータリーの友１月・２月号も本日お配りしました。

坂本勝彦　会員増強委員長より

会員増強問題ではないが、メークアップを活用して出席率を高めるように努めましょう。

どこのクラブでもよいから一度出会してみると、雰囲気に馴れて、次回からが出会し易くなります。

江藤康雄　ＣＮ実行委員長より

前回、認証状伝達式実行委員会編成表についてご賛同を得ましたが、各小委員会の担当業務については、来週の例会前に各室長にお集りいただいて協議決定したいと思います。

なお、本日の例会終了後、園山特別代表及び斉藤特別代表と会長・副会長・幹事との話し合がありますので、その際いろいろご指導をいただきたいと考えます。

宮崎県ＩＧＦ出会報告

昭和６３年２月１４日（日）都城市民会館を主会場として開催された宮崎県ＩＧＦに、本クラブから、金丸三男・鈴木正敏会員が出席され、金丸会員が代表して次のような概要報告がありました。

○都城市長の挨拶で、都城地区のロータリークラブが、同地区の文化・経済の発展に大きく

寄与していることを強調された。

○都城市長は都城西ＲＣの会員であり、小林地区では市議も入会しているとのことであったが、正会員時に当選して継続しているのかも知れない。

○池田ガバナーの挨拶は格調の高いものであった。地域に密着したクラブ活動、地域住民に認められるロータリークラブであってほしいと結ばれた。

なお、昭和６２年１２月１３日に実施した、ポリオプラス街頭キャンペーンには、２７３地区の５０クラブ、１４３３人が参加して、４０５万円を募金したそうである。

○クラブ紹介で、日高中部分区代理から佐土原ＲＣも呼名されたが、日向ＲＣの１０名に次いで２名の出席は極めて少なく、最低であった。大いに反省させられた次第である。

地区年次大会とＩＧＦには、できるだけ出席するように努力しなければならない。

○鈴木会員は第３分科会に、私は第４分科会に出席した。

第４分科会の討議内容は、別途資料をお配りしたので読んでいただきたい。

６２年の本県のクラブ例会出席率は、平均が９３.１８％である。２０年間１００％出席している会員もいるそうである。

○結論として言えることは、このような会に出席して、いろいろな人の話を聴くことは大変有意義であり、ロータリーがいくらかでもわかってくるということである。

第３分科会に出席された鈴木会員より、次のことについて補足がありました。

○各ＲＣにポリオプラス委員会を設置するよう指示があった。

役員として、会長・副会長及び会計を選任すること。会計の任期は２年とすること。

募金目標額は、会員が５年間に２万円とし、別に各ＲＣ会員１人当り２万円を加算する。

会員の５分間スピーチ

プログラム委員長　江藤康雄

今のところ町長は土曜日だけしかご都合がつかないそうですので、例会での卓話はしばらく無理と思われます。

つなぎ役として、私が職業に関係のある木の話をさせていただきます。

ご承知の通り、昨年は異常な暖冬であったため、樹木の蒸散活動が一月半も早まっています。

この頃の寒さがやっと例年の気温になり、蒸散活動が止まっていると思いますが、樹木はかなり衰弱しております。

従って、夏場には相当樹勢が弱ることが予想されます。

皆さんの庭樹には、今のうちに十分灌水しておくようにしてください。

人間にも同様に、暖冬によるダメージが、夏に向って現われるのではないかと考えられますので、十分体力づくりにご配意ください。

（特別寄稿）

ロータリクラブをロータリー国際大学として考えるならば

宮崎北ＲＣ会長　岡本英敬

私、ロータリークラブに入会させて頂いて１０年になるわけでご座居ます。言うまでもなくロータリークラブは奉仕の広場であり、又、自己研鑽の広場でもあるわけでご座居ます。そこでもう少しロータリークラブを身近に理解する方法として私、大学に例えて考えてみたわけでご座居ます。

その概略を申し上げてみたいと思います。
適切でないかも知れませんが、その点お許しをいただきたいと思います。

ロータリークラブの名称

① ロータリー国際大学
② 創始者 ‥‥ポール・ハリス
③ 創立年月日……１９０５年２月２３日
（明治３８年２月２３日）
④ ８３年の伝統ある ……世界奉仕総合大学
⑤ 建学の精神……奉仕の理想と実践
⑥ ロータリー国際大学
総長 チャールズ・ケラー（ＲＩ会長）
⑦ ロータリー国際大学２７３地区本校
副総長…池田卓郎（地区ガバナー）
大学参与……（分区代理）
名誉教授……（パスト・ガバナー）
⑧ ロータリー国際大学２７３地区佐土原分校
学長……山脇 忍（クラブ会長）
⑨ 本年度のテーマ 「学生よ勉学と共に奉仕の心を学び、奉仕をもって平和を築く」……（ロータリアン、奉仕に結束、平和に献身）
⑩ 総長・副総長・学長…… 任期 …… １年
⑪ テーマ……年度毎 …… 変る

学部

1.クラブ奉仕学部……本学科以外に１１の学科がある。
(1) 親睦学科
(2) 出席学科
(3) プログラム学科
(4) クラブ会報学科
(5) 広報学科
(6) 雑誌学科
(7) Ｒ情報学科
(8) 分類選別学科
(9) 学生増強学科
(10) ＳＡＡ学科
(11) 会計学科

2.職業奉仕学部 …… 本学科
3.社会奉仕学部……本学科
(1) 青少年学科
(2) インターアクト学科
(3) ローターアクト学科
4.国際奉仕学部……本学科
(1)Ｒ財団学科
(2) 米山奨学生学校

校舎

１階 …… クラブ奉仕学部
２階 …… 職業奉仕学部
３階 …… 社会奉仕学部
４階 …… 国際奉仕学部
５階 ……大講堂は下記年間行事と図書館があります。
1. 授業視察（副総長）（公式訪問）
……８月～１０月
2. 学園祭（地区大会）…… １０月頃
3. 学生大会（クラブ年次総会）１２月
4. 学部研修会（ＩＧＦ）……２月
5. 新学期教授研究会（地区協議会）
…… ４月頃
6. 大小さまざまの会議、会合等が開かれる。

図書館

1. ロータリー国際大学辞典（手続要領）
2. ロータリー国際大学用語事典
（各クラブ自作のロータリー用語解説書）
3. 参考書 諸ロータリー文献
4. 副総長通信（ガバナー月信）
5. 分校週報誌（クラブ会報）
6. 学生の友月刊誌（ロータリーの友）

校 則

1. 入学 推せん入学、学歴不問、１家庭１名（１業種１名）
2. 入学時期……随時入学
3. 入学金 ……３万円

4. 月授業料　１４,０,０,０円
5. 授業　毎週水曜日１２時３０分～１３時３０分（１時間……給食）
6. 出席　大変厳しいところである。
   出席規定　イ、半年に６０％以上出席すること。
   ロ、授業に連続４回以上欠席しないこと。
   ハ、本学部の授業に３０％以上出席すること。
7. 退学処分　イ、出席規定に違反した時
   ロ、授業料未納の場合
   ハ、退学処分の決定は教授会（理事会）
8. 欠席した場合の単位補充制度
   世界の各所にロータリー国際大学の分校があるので、その所に出席すれば単位を補充することができる（メークアップ）
9. これ以外に校則はいろいろとご座居ますが、又の機会に申し上げたいと思います。

大学の特徴

卒業がないことである。（お迎えの時が卒業）

1. 但一般学生が修業年数１５年になった時
2. 年令６０才で修業年数１０年になった時
3. 年令６５才で修業年数５年になると更に研究学生として自動的に大学院に進学することになる。（シニア・アクティブ会員）

大学の悩み

学生の新陳代謝がはげしいために学生増強学科の先生方は何時も学生募集をしていらっしゃるのが現状である。

知られざる哲学

この哲学はあまり知られていない哲学です。

即、「暗黙の了解」と云う哲学でご座居ます。それはロータリー用語辞典には「ノー」という言葉がございません。

従って頼まれたら断わられないと云う言葉が学生の心の根底に定着していることでご座居ます。

又、その反面「思いやりの豆事典」と云うものがあります。

但し書がご座居ます。公私の都合で一時的に奉仕活動が出来ない時にはその限りでないと書いてございます。

この二つの調和が保たれているのも一つの特徴でもあるわけでご座居ます。

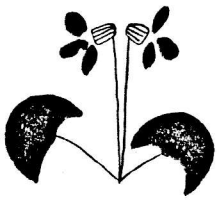
以上いろいろ申し上げましたが、新会員の皆さん方に少しでもお役に立ちますなら幸いです。

出席報告

第１７回例会　２月１９日（金）

会員数	２１名
ホーム欠席者数	５名
ホーム出席者数	１６名
ホーム出席率	７６.１９％
メークアップ者数	０名

欠席者名　立山・上田・武田
日高・吉田

ビジター（敬称略）

宮崎北	園山謙二	特別代表
〃	斉藤芳春	特別代表補佐
西都	図師定博